

コロナ禍の不安に負けず安心して暮らしていける町であり続けるための決議

新型コロナウイルス感染症は、近隣市町でもクラスターが発生するなど感染拡大が続いており、河津町でも不安を抱えた生活を余儀なくされている。

全国的には、感染者やその家族、最前線で治療に当たる医療・介護関係者などに対する誹謗中傷、インターネット上での悪質な書き込みや差別・偏見、いじめ等が社会問題となっている。心無い言動は、刃物と同じで人の心に深い傷を残し、時には命を奪う事もある。私たちが立ち向かう相手は、新型コロナウイルスという「ウイルス」であって、「人」ではない。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染し、誰もが気づかぬうちに他に感染させる可能性があることを念頭に置いて、町民の意識をひとつにして、思いやりを持って行動することが求められる。

よって、河津町議会は、以下の事項を決議する。

1. 新型コロナウイルス感染症を理由とした偏見や不当な差別、いじめは決してあってはならない。町民、経済関連各種団体、行政、教育機関などと連携し正しい理解を持ち、互いに支え合い、励まし合えるよう行動すること。
2. 感染リスクと向き合い、最前線で献身的に業務にあたっている医療従事者をはじめとする関係各位、そしてその家族に心からの敬意と感謝を表明する。
3. 新型コロナウイルスによる感染が終息した後、河津町をより一層希望あふれる町とするため、力を合わせ、ともに今を乗り越えること。

令和2年12月11日

静岡県賀茂郡河津町議会

